令和　7年度（　6年度決算分）　高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系			
まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当 局名	健康福祉局
政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成	課（室）名	こども保育教育課
施策	子育て支援の充実	電話番号	087-839-2358
取組方針	妊娠期からの子育て支援	事業期間	令和　6年度～令和 13年度
事務事業	多子世帯保育料等減免事業		

【事業全体概要】

事業概要	人口減少・少子化の流れを食い止め、若い世代が２人目、３人目の子どもを持ちたいと思えるような施策を推進するため、市独自の幼稚園・保育所等の利用料の第２子以降の多子世帯への上乗せ減免等を実施する。
7年度概要	○保育所・幼稚園・認定こども園・地域型保育事業 ０歳～２歳児の子どもが同時に在園する第２子及び１８歳未満の第３子以降の無料化を実施

重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	①保育所等に同時に在園する第２子及び１８歳未満の第３子以降（無料）
意図（どのような状態にしたいか）	子育て世帯の経済的負担を軽減することで、２人目、３人目の子どもを持ちたいと思えるような子育て環境を整備し、出生率の向上を図る。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
①	減免者数（３月３１日時点）	人	0	0	7,843	8,295	8,295
②							

【事業の成果】

成果指標①

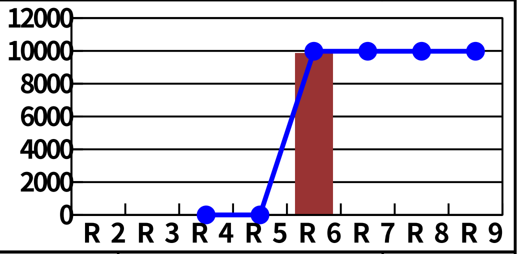
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
入所者数	人	目標値	0	0	9,978	9,978	9,978
		実績値	0	0	9,860		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

出生率低下に伴い、入園児童数も低下している。

（目標達成度）98.8%

（得点）35点



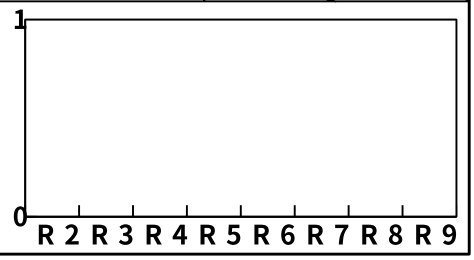
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

	単位	R４(決算)	R５(決算)	R６(決算)	R７(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	0	0
(事業費)	[千円]	0	0	0	0
(職員人件費)	[千円]	0	0	0	0

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和6年度	○保育所・幼稚園・認定こども園・地域型保育事業 ０歳～２歳児の子どもが同時に在園する第２子及び１８歳未満の第３子以降の無料化を実施		総額		0
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源		0
令和7年度	○保育所・幼稚園・認定こども園・地域型保育事業 ０歳～２歳児の子どもが同時に在園する第２子及び１８歳未満の第３子以降の無料化を実施		総額		0
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源		0

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%) B (60%～ 79%) C (0%～ 59%)	A	総合点(率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

継続して、保育所等の利用料の減免を実施する。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

継続して、保育所等の利用料の減免を行っていく。

令和　7年度（　6年度決算分）　高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系			
まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当　局名	健康福祉局
政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成	課（室）名	こども保育教育課
施策	子育て支援の充実	電話番号	087-839-2358
取組方針	妊娠期からの子育て支援	事業期間	令和　6年度～令和 13年度
事務事業	地域子育て支援拠点事業（こども保育教育課分）		

【事業全体概要】

事業概要	常設の地域子育て支援拠点を開設し、主としておおむね３歳未満の児童及びその保護者を対象として、子育て親子の交流の場の提供のほか、交流の促進・子育て等に関する相談、援助・地域の子育て関連情報の提供等を実施し、地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、子どもの健やかな育ちを促進する。 　併せて、子どもとその保護者等が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、地域子育てコーディネート事業を実施する。
7年度概要	地域子育て支援拠点事業実施施設　１６か所 センター５日型　１３か所 センター６～７日型　１か所 小規模型　１か所 利用者支援併設型　１か所

重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法、地域子

【事業の目的】

対象（何を）	乳幼児及びその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	子育て家庭の育児への負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育ちができる環境を整備し、地域の子育て支援機能の充実を図る。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	中期目標 Ｒ８
①	地域子育て支援拠点事業の開催日数	日	0	0	3,851	3,900	3,900
②							

【事業の成果】

成果指標①

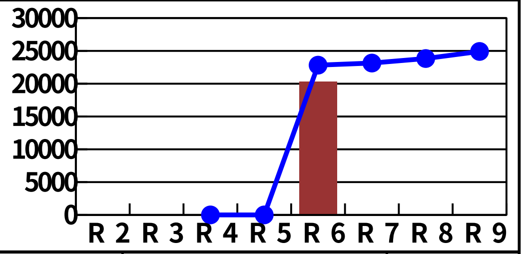
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	中期目標 Ｒ８
利用者数（子ども）	人	目標値	0	0	22,827	23,148	23,836
		実績値	0	0	20,288		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

感染症等に留意して実施することで、コロナ禍後、緩やかに利用者数は回復しているものの、目標達成には至っていない。
R1:29,069人、 R2:18,823人、 R3:13,904人、 R4:17,538人、 R5:21,831人

（目標達成度）88.9%

（得点）31点



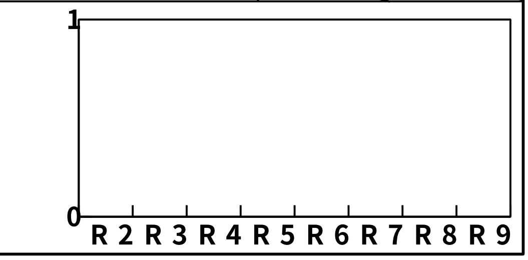
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	中期目標 Ｒ８
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

	単位	Ｒ４(決算)	Ｒ５(決算)	Ｒ６(決算)	Ｒ７(予算)
トータルコスト	[千円]	157,023	160,591	159,242	173,316
(事業費)	[千円]	156,275	159,838	157,698	171,772
(職員人件費)	[千円]	748	753	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和6年度	地域子育て支援拠点事業実施施設　１７か所 センター５日型　１３か所 センター６～７日型　１か所 小規模型　１か所 利用者支援事業併設型　１か所	地域子育て支援拠点事業 １４８，８６３千円 利用者支援事業 ８，８３５千円	総額		157,698
			特定財源	国	55,511
				県	51,093
				市債	0
				他	0
			一般財源		51,094
令和7年度	地域子育て支援拠点事業実施施設　１６か所 センター５日型　１３か所 センター６～７日型　１か所 小規模型　１か所 利用者支援併設型　１か所	地域子育て支援拠点事業 １６２，６３７千円 利用者支援事業 ９，１３５千円	総額		171,772
			特定財源	国	60,302
				県	55,734
				市債	0
				他	0
			一般財源		55,736

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A（80%～100%） B（60%～ 79%） C（ 0%～ 59%）	A	総合点(率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

成果目標である利用者数（子ども）は、前年度の２１，８３１人から１，５４３人減少している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

今後も当該施策の状況を注視し、より効果のある事業となるよう取り組んでいく。

令和　7年度（　6年度決算分）　高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成
	施策	子育て支援の充実
	取組方針	子育て環境の充実
	事務事業	保育士確保対策事業

評価担当	局名	健康福祉局
	課（室）名	こども保育教育課
	電話番号	087-839-2358
事業期間		令和　6年度～令和 13年度

【事業全体概要】

事業概要	待機児童解消に向けて、公募による認定こども園への移行等を進めているところであるが、一方で保育士の不足により、定員まで児童を受入できない保育所等もある。特に保育士不足傾向にある私立保育所等において、保育士の確保が図られることが喫緊の課題となっていることから、本市独自の保育士確保対策を実施する。
7年度概要	①潜在保育士就職一時金支給事業 ②保育士宿舎借上げ支援事業 （国庫補助　１／２、事業主負担　１／４） ③ ICT化推進等事業補助金 （国庫補助　１／２、事業主負担　１／４）

重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	保育人材確保事業の実施について（雇児発０

【事業の目的】

対象（何を）	保育所等利用待機児童
意図（どのような状態にしたいか）	保育士確保が図られることにより、待機児童の確実な解消につなげることができる。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
①	補助金交付人数	人	0	0	7	13	13
②							

【事業の成果】

成果指標①

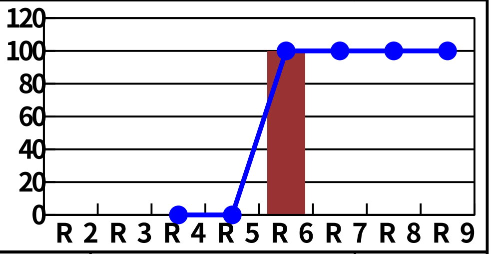
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	99.97		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、おおむね、目標を達成できた。

（目標達成度）100.0%

（得点）35点



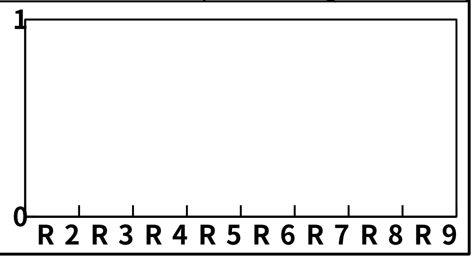
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

	単位	R４(決算)	R５(決算)	R６(決算)	R７(予算)
トータルコスト	[千円]	16,206	8,762	59,224	33,957
(事業費)	[千円]	15,458	8,009	58,452	33,185
(職員人件費)	[千円]	748	753	772	772

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和6年度	①保育士就職一時金支給事業 ②保育士宿舎借上げ支援事業 （国庫補助　１／２、事業主負担　１／４） ③ ICT化推進等事業補助金 （国庫補助　１／２、事業主負担　１／４） ④市立保育所等におけるDXの推進	①補助金　　７００千円 ②補助金　２，６０６千円 ③補助金　５，３６８千円 ④事業費　４９,７７８千円	総額		58,452
			特定財源	国	21,827
				県	6,715
				市債	0
				他	700
			一般財源		29,210
令和7年度	①潜在保育士就職一時金支給事業 ②保育士宿舎借上げ支援事業 （国庫補助　１／２、事業主負担　１／４） ③ ICT化推進等事業補助金 （国庫補助　１／２、事業主負担　１／４） ④市立保育所等におけるDXの推進	①補助金　２，０００千円 ②補助金　３，８０４千円 ③補助金　４，８７５千円 ④事業費　２２,５０６千円	総額		33,185
			特定財源	国	10,565
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源		22,620

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A（80%～100%） B（60%～ 79%） C（ 0%～ 59%）	A	総合点(率)	98 / 100 (98%)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

成果目標である待機児童とならなかつた人の割合は、99.97%となっており、待機児童減少に繋がっている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

今後も事業について関係機関等に周知し、申請者の増加を図り、保育士確保に取り組む。

令和　7年度（　6年度決算分）　高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系				
まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課（室）名	こども保育教育課
施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2358
取組方針	子育て環境の充実	事業期間		令和　6年度～令和 13年度
事務事業	私立保育所運営支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	私立保育所等に対し、公定価格に見込まれていない費用等を補助することにより、運営を支援する。
7年度概要	主な事業内容 1　報償費（事務謝金） 2　補助金（保育体制強化事業、使用済み紙おむつ処分費補助） 3　補助金（市単独）

重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法、香川県

【事業の目的】

対象（何を）	私立保育所、私立認定こども園及び地域型保育事業所
意図（どのような状態にしたいか）	私立保育所等に対する補助によって保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	保育体制強化事業及び使用済み紙おむつ処分費補助金	件	0	0	130	160	160
②							

【事業の成果】

成果指標①

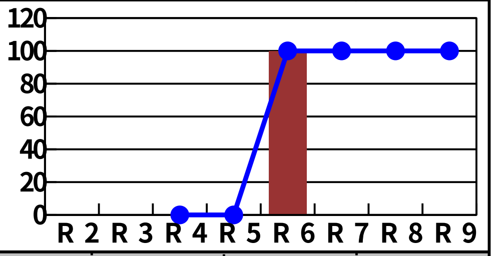
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	99.97		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、おおむね目標を達成することができた。

（目標達成度）100.0%

（得点）35点



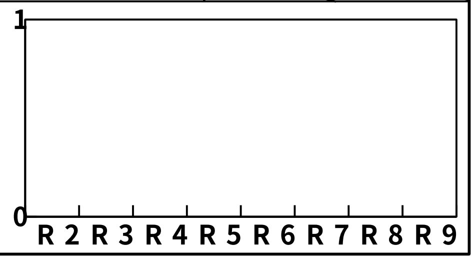
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

		単位	R４(決算)	R５(決算)	R６(決算)	R７(予算)
トータルコスト		[千円]	4,445,048	4,495,813	110,725	120,196
	(事業費)	[千円]	4,439,061	4,489,791	103,005	112,476
	(職員人件費)	[千円]	5,987	6,022	7,720	7,720

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 （予算の増減理由）	事業費		
令和6年度	主な事業内容 １　報償費（事務謝金） ２　補助金（保育体制強化事業、使用済み紙おむつ処分費補助） ３　補助金（市単独） ４　補助金（繰越事業）	報償費　　３９，０２１千円 補助金　　６０，０００千円 補助金（繰越）　３，９８５千円	総額		103,005
			特定財源	国	2,649
				県	34,392
				市債	0
				他	0
			一般財源		65,964
令和7年度	主な事業内容 １　報償費（事務謝金） ２　補助金（保育体制強化事業、使用済み紙おむつ処分費補助） ３　補助金（市単独）	報償費　３９，２０３千円 補助金　７３，２７３千円	総額		112,476
			特定財源	国	0
				県	41,435
				市債	0
				他	0
			一般財源		71,041

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A（80%～100%） B（60%～ 79%） C（ 0%～ 59%）	A	総合点 (率)	96　/ 100 (96 %)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

保育体制強化事業の申請件数は、令和５年度の３４施設から２施設増加した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

私立保育施設等の状況把握に努め、保育士の負担軽減や保育環境の改善により、保育水準及び入所児童の福祉の向上に取り組んでいく。

令和　7年度（　6年度決算分）　高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当　局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成	課（室）名	こども保育教育課
	施策	子育て支援の充実	電話番号	087-839-2358
	取組方針	子育て環境の充実	事業期間	令和　6年度～令和 13年度
	事務事業	認可外保育施設支援事業		

【事業全体概要】

事業概要	認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第２子以降の児童の保護者に対して補助する。 また、一定の基準を満たす認可外保育施設を「高松市すこやか認定保育所」として認定し、補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。 このほか、幼児教育・保育の無償化に伴い、施設等利用費の償還払いを行うことで、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図る。
7年度概要	認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第２子以降の児童の保護者に対して補助する。 また、一定の基準を満たす認可外保育施設を「高松市すこやか認定保育所」として認定し、補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。

重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	認可外保育施設
意図（どのような状態にしたいか）	認可外保育施設に対する補助によって、保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
①	認可外保育施設補助金交付件数	件	0	0	8	8	8
②							

【事業の成果】

成果指標①

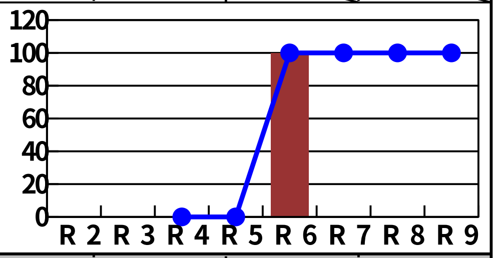
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	99.97		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、おおむね目標を達成することができた。

（目標達成度）100.0%

（得点）35点



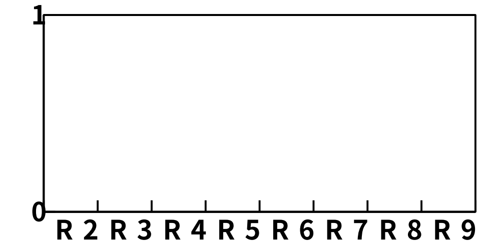
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

		単位	R４(決算)	R５(決算)	R６(決算)	R７(予算)
トータルコスト		[千円]	100,506	119,451	59,617	60,533
	(事業費)	[千円]	94,519	113,429	51,897	52,813
	(職員人件費)	[千円]	5,987	6,022	7,720	7,720

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和6年度	認可外保育施設に対し補助することにより、認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第２子以降の児童の保護者に対して補助する。 また、一定の基準を満たす認可外保育施設を高松市すこやか認定保育所として認定し補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。	認可外保育施設助成（６施設）　４，８０１千円／すこやか認定保育所助成（２施設）６，３６９千円／第２子等保育料助成金　４０，４１０千円／その他　３１７千円	総額		51,897
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源		51,897
令和7年度	認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第２子以降の児童の保護者に対して補助する。 また、一定の基準を満たす認可外保育施設を「高松市すこやか認定保育所」として認定し、補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。	認可外保育施設助成（６施設）　４，６４８千円／すこやか認定保育所助成（２施設）８，１０９千円／第２子等保育料助成金　３９，４５６千円／その他　６００千円	総額		52,813
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源		52,813

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A（80%～100%） B（60%～ 79%） C（ 0%～ 59%）	A	総合点(率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

すこやか認定保育所が２施設減ったことで、認可外保育施設に対する補助の事業費は、令和５年度から３，６１１千円減少している。
また、認可外保育施設入所第２子等保育料助成金は、令和５年度の下半期分から拡充していることから、令和６年度の事業費は増加している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

今後も当該施策の状況を注視し、より効果的な事業となるよう取り組んでいく。

令和　7年度（　6年度決算分）　高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系			評価担当		
まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち		局名	健康福祉局	
政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課（室）名	こども保育教育課	
施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2358	
取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和　6年度～令和 13年度	
事務事業	私立幼稚園施設型給付事業				

【事業全体概要】

事業概要	子ども・子育て支援法第２７条第１項に基づき、教育・保育給付認定子どもが私立幼稚園（施設型給付費）で特定教育・保育を受けるために要した費用について、施設型給付費を支給するもの。
7年度概要	私立幼稚園施設型給付費（特別保育事業を含む）　１１施設

重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	子ども・子育て支援法ほか

【事業の目的】

対象（何を）	私立幼稚園（施設型給付費）
意図（どのような状態にしたいか）	私立幼稚園（施設型給付費）が、子ども・子育て支援法に定める最低基準を維持しつつ、安定的な教育が実施できるよう運営支援する。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	中期目標 Ｒ８
①	施設への給付件数	件	0	0	11	11	11
②							

【事業の成果】

成果指標①

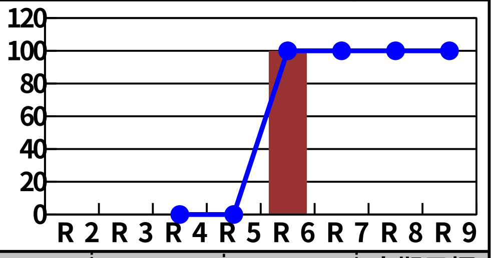
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	中期目標 Ｒ８
待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	99.97		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、おおむね目標を達成することができた。

（目標達成度）　100.0%

（得点）　35点



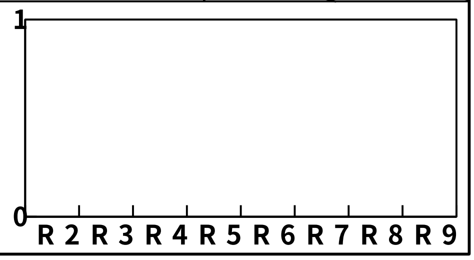
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	中期目標 Ｒ８
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

	単位	R４(決算)	R５(決算)	R６(決算)	R７(予算)
トータルコスト	[千円]	674,987	870,234	900,268	1,269,031
(事業費)	[千円]	674,239	869,481	895,636	1,264,399
(職員人件費)	[千円]	748	753	4,632	4,632

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和6年度	私立幼稚園施設型給付費（特別保育事業を含む）１１施設	給付費　　８４９，８０４千円 特別保育事業　４５，８３２千円	総額		895,636
			特定財源	国	343,430
				県	289,323
				市債	0
				他	0
			一般財源		262,883
令和7年度	私立幼稚園施設型給付費（特別保育事業を含む）　１１施設	給付費　１，２１０，２７５千円 特別保育事業　５４，１２４千円	総額		1,264,399
			特定財源	国	471,288
				県	396,554
				市債	0
				他	0
			一般財源		396,557

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A（80%～100%） B（60%～ 79%） C（ 0%～ 59%）	A	総合点(率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

人事院勧告に準じて公定価格に含まれる人件費が引き上げられたことから、事業費は増加している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

各幼稚園における子どもの利用状況や国・県等の動向の把握等に努め、幼稚園が安定的な教育・保育を実施できるよう取り組んでいく。

令和　7年度（　6年度決算分）　高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当 局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成	課（室）名	こども保育教育課
	施策	子育て支援の充実	電話番号	
	取組方針	子育て環境の充実	事業期間	令和　6年度～令和 13年度
	事務事業	特別保育事業		

【事業全体概要】

事業概要	私立保育施設等の子育て支援事業の充実と、未就学児の保護者の子育てと仕事の両立を図るため、障がい児等の特別な支援を必要とする児童の受入れや、延長保育、一時預かり等の特別保育を実施する。
7年度概要	①特別支援保育支援 ②病児保育事業 ③延長保育事業 ④一時預かり事業（一般型・余裕活用型） ⑤一時預かり事業（幼稚園型）

重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法　ほか

【事業の目的】

対象（何を）	私立保育所、私立認定こども園及び地域型保育事業所
意図（どのような状態にしたいか）	子育てと仕事の両立や私立保育所、私立認定こども園及び地域型保育事業所における子育て支援事業の充実を図る。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	特別保育の実施箇所数	箇所	0	0	76	79	79
②							

【事業の成果】

成果指標①

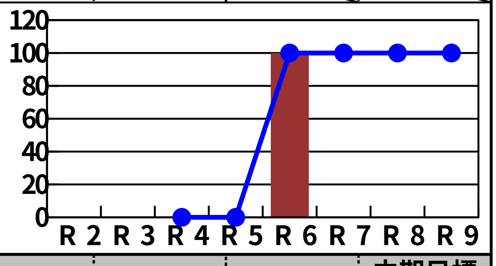
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	99.97		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、待機児童は減少してきている。

（目標達成度）
100.0%

（得点）
35点



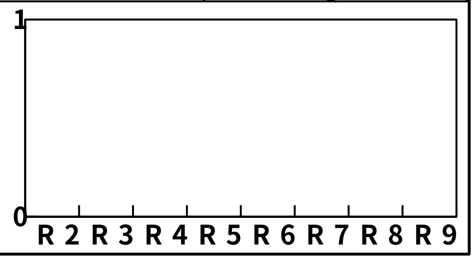
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

	単位	R４(決算)	R５(決算)	R６(決算)	R７(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	287,282	348,309
(事業費)	[千円]	0	0	274,158	335,185
(職員人件費)	[千円]	0	0	13,124	13,124

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 （予算の増減理由）	事業費		
令和６年度	①特別支援保育支援 ②病児保育事業 ③延長保育事業 ④一時預かり事業（一般型・余裕活用型） ⑤一時預かり事業（幼稚園型） ⑥保育所等地域活動事業 ⑦地域子育て支援事業	①１０４，７１３千円 ②　　９，１４６千円 ③　７１，１０１千円 ④　４３，７５９千円 ⑤　３１，１１４千円 ⑥　　９，４２３千円 ⑦　　４，９０２千円	総額		274,158
			特定財源	国	46,813
				県	46,813
				市債	0
				他	0
			一般財源		180,532
令和７年度	①特別支援保育支援 ②病児保育事業 ③延長保育事業 ④一時預かり事業（一般型・余裕活用型） ⑤一時預かり事業（幼稚園型） ⑥保育所等地域活動事業 ⑦地域子育て支援事業 ⑧保育環境充実支援事業	①７７，１７５千円 ②　９，１４６千円 ③８２，７０１千円 ④４７，１３２千円 ⑤４０，４３１千円 ⑥２０，７００千円 ⑦１３，５００千円 ⑧４４，４００千円	総額		335,185
			特定財源	国	53,227
				県	75,427
				市債	0
				他	0
			一般財源		206,531

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A（80%～100%） B（60%～ 79%） C（ 0%～ 59%）	A	総合点(率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

一時預かり（幼稚園型）の実施施設が令和５年度から２施設増加した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

私立保育所等の状況や、未就学児の保護者のニーズ等を正確に把握することに努め、引き続き、子育て支援事業の充実と子育てと仕事の両立に取り組んでいく。

令和　7年度（　6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系			
まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当 局名	健康福祉局
政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成	課（室）名	こども保育教育課
施策	子育て支援の充実	電話番号	087-839-2358
取組方針	子育て環境の充実	事業期間	令和　6年度～令和 13年度
事務事業	施設等利用給付事業		

【事業全体概要】

事業概要	こども園及び幼稚園に通園する園児の保護者に対する経済的負担の軽減を図る。
7年度概要	①市立こども園における預かり保育の無償化 ②私立こども園における預かり保育の無償化 ③市立幼稚園における預かり保育の無償化 ④私立幼稚園における授業料及び預かり保育の無償化

重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	施設等利用給付認定の認定を受けた者
意図（どのような状態にしたいか）	子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	年間の利用延べ人数	人	0	0	29,487	27,100	27,100
②							

【事業の成果】

成果指標①

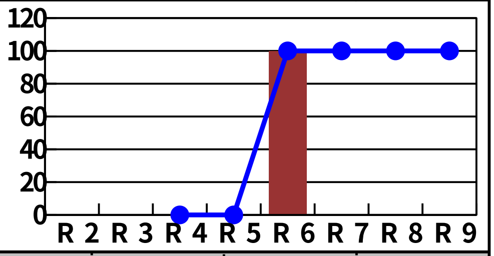
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	99.97		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、おおむね目標を達成することができた。

（目標達成度）100.0%

（得点）35点



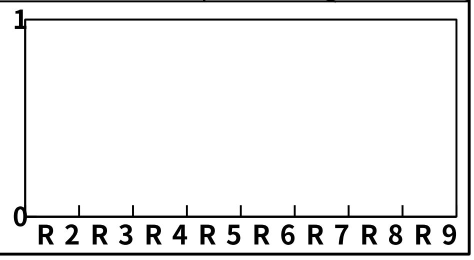
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

	単位	R４(決算)	R５(決算)	R６(決算)	R７(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	515,715	419,495
(事業費)	[千円]	0	0	500,275	404,055
(職員人件費)	[千円]	0	0	15,440	15,440

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和6年度	①市立こども園における預かり保育の無償化 ②私立こども園における預かり保育の無償化 ③市立幼稚園における預かり保育の無償化 ④私立幼稚園における授業料及び預かり保育の無償化	①140千円 ②69,641千円 ③866千円 ④429,628千円	総額		500,275
			特定財源	国	251,862
				県	123,632
				市債	0
				他	0
			一般財源		124,781
令和7年度	①市立こども園における預かり保育の無償化 ②私立こども園における預かり保育の無償化 ③市立幼稚園における預かり保育の無償化 ④私立幼稚園における授業料及び預かり保育の無償化	①121千円 ②67,932千円 ③622千円 ④335,380千円	総額		404,055
			特定財源	国	204,372
				県	99,835
				市債	0
				他	0
			一般財源		99,848

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A(80%~100%) B(60%~ 79%) C(0%~ 59%)	A	総合点(率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

幼児教育・保育の無償化による保育料、一時預かり事業の無償化を行った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

継続して、保育料及び預かり保育に対する給付を行う。

令和　7年度（　6年度決算分）　高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系			
まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当 局名	健康福祉局
政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成	課（室）名	こども保育教育課
施策	子育て支援の充実	電話番号	087-839-2358
取組方針	子育て環境の充実	事業期間	令和　6年度～令和 13年度
事務事業	子どものための教育・保育給付事業		

【事業全体概要】

事業概要	子ども・子育て支援法第２７条第１項に基づき、教育・保育給付認定子どもが私立保育所、私立認定こども園及び地域型保育事業所で特定教育・保育を受けるに要した費用について施設型給付費を支給するもの。
7年度概要	私立保育所（３２施設） 私立認定こども園（２８施設） 地域型保育事業（２１施設）

重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法　ほか

【事業の目的】

対象（何を）	私立保育所、私立認定こども園及び地域型保育事業所
意図（どのような状態にしたいか）	私立保育所、私立認定こども園及び地域型保育事業所が安定的な教育・保育が実施できるよう運営支援を行う。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	中期目標 Ｒ８
①	施設への給付件数	件	0	0	81	81	81
②							

【事業の成果】

成果指標①

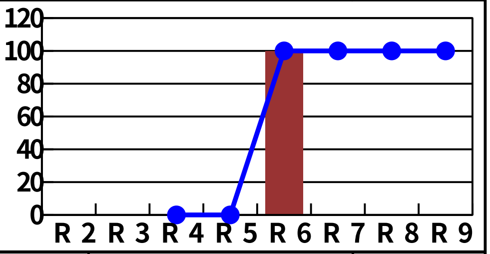
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	中期目標 Ｒ８
待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	99.97		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、おおむね目標を達成することができた。

（目標達成度）100.0%

（得点）35点



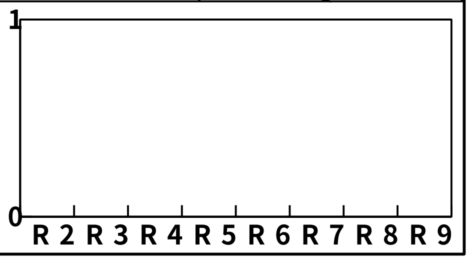
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	中期目標 Ｒ８
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

		単位	R４(決算)	R５(決算)	R６(決算)	R７(予算)
トータルコスト		[千円]	0	0	10,061,651	10,460,468
	(事業費)	[千円]	0	0	10,038,491	10,437,308
	(職員人件費)	[千円]	0	0	23,160	23,160

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和6年度	私立保育所（３２施設） 私立認定こども園（２８施設） 地域型保育事業（２１施設）	私立保育所 ４，３１５，８５６千円 私立認定こども園 ４，６９１，５７２千円 地域型保育事業 １，０３１，０６３千円	総額		10,038,491
			特定財源	国	5,056,841
				県	2,171,133
				市債	0
				他	394,892
			一般財源		2,415,625
令和7年度	私立保育所（３２施設） 私立認定こども園（２８施設） 地域型保育事業（２１施設）	私立保育所 ４，５０３，２９９千円 私立認定こども園 ４，８７２，２６４千円 地域型保育事業 １，０６１，７４５千円	総額		10,437,308
			特定財源	国	5,173,724
				県	2,253,878
				市債	0
				他	413,208
			一般財源		2,596,498

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A（80%～100%） B（60%～ 79%） C（ 0%～ 59%）	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

人事院勧告に準じ、公定価格上の人件費が引き上げられたことで、事業費が増加した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

各保育施設等における子どもの利用状況や国・県等の動向の把握等に努め、安定的な教育・保育を実施できるよう取り組んでいく。

令和　7年度（　6年度決算分）　高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系			評価担当	
まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち		局名	健康福祉局
政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課（室）名	こども保育教育課
施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2358
取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和　6年度～令和 13年度
事務事業	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業			

【事業全体概要】

事業概要	子どもの創造性を育む指導や援助の在り方についての取組を進めるため、絵画や造形などの専門家である芸術士を保育所・こども園・幼稚園へ派遣し、それぞれの芸術分野をいかしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう導く事業を実施します。 実事業期間　平成２１年度～
7年度概要	芸術士の保育所、幼稚園等への派遣 （派遣先施設　　１０１か所） 内訳　公立保育所等４０か所 私立保育所等３７か所 公立幼稚園　８か所　私立幼稚園等１６か所

重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内公私立保育所・こども園・幼稚園
意図（どのような状態にしたいか）	子どもの持つ豊かな感性や創造力を引き出す派遣事業に対して、保育所・こども園・幼稚園がその意義に対する認識を深め、日々の保育にいかせるようになる。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
①	芸術士派遣施設数	施設	0	0	98	100	100
②							

【事業の成果】

成果指標①

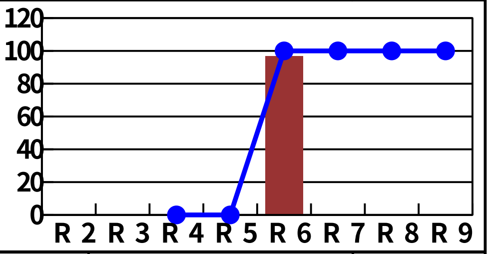
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
芸術士派遣事業実施施設の満足度	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	96.938		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

施設における満足度は高く、概ね達成できた。

（目標達成度）　96.9%

（得点）　34点



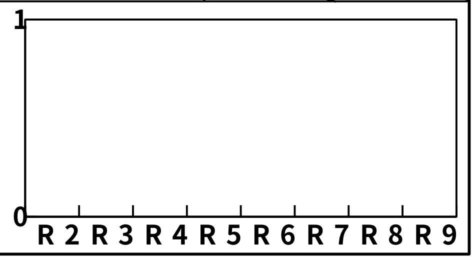
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

	単位	R４(決算)	R５(決算)	R６(決算)	R７(予算)
トータルコスト	[千円]	36,374	36,354	36,421	4,858
(事業費)	[千円]	34,877	34,849	34,877	3,314
(職員人件費)	[千円]	1,497	1,505	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和６年度	芸術士の保育所、幼稚園等への派遣 （派遣先施設　　　９８か所） 内訳　公立保育所等３２か所 私立保育所等４１か所 公立幼稚園　１６か所　私立幼稚園等９か所 芸術士・保育士等懇談会　年２回	委託料　３４，８７７千円	総額		34,877
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源		34,877
令和７年度	芸術士の保育所、幼稚園等への派遣 （派遣先施設　　１０１か所） 内訳　公立保育所等４０か所 私立保育所等３７か所 公立幼稚園　８か所　私立幼稚園等１６か所 芸術士・保育士等懇談会　年２回	委託料　３３，１３４千円	総額		3,314
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源		3,314

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A（80%～100%） B（60%～ 79%） C（ 0%～ 59%）	A	総合点(率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

児童が持っている感性や創造力を伸ばすことができるよう、取り組んだ。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

事業の成果を広く周知するとともに、創造性豊かな本市の特徴と、子ども・子育てが融合した取り組みにより、未来を担う子ども達の無限の可能性を引き出していく。

令和　7年度（　6年度決算分）　高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	局名	健康福祉局
政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成	課（室）名	こども保育教育課
施策	子どもの成長への支援	電話番号	087-839-2358
取組方針	配慮を要する子どもへの支援	事業期間	令和　6年度～令和 13年度
事務事業	発達障がい児等支援事業（こども保育教育課分）		

【事業全体概要】

事業概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、私立保育所等に対して、要支援児童を保育するための必要な経費の一部を支弁する。
7年度概要	支弁対象施設４１施設に１０７人

重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市内の私立保育園、認定こども園及び小規模保育事業所に在園する支援を必要とする乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性のある乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
①	発達障がい児等受入施設数	箇所	0	0	46	41	41
②							

【事業の成果】

成果指標①

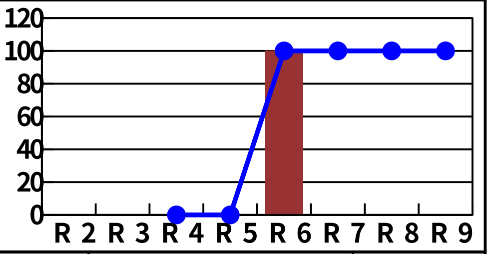
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
発達障がい児等受入率	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	100		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

市内の発達障がい児受入可能な私立保育所、私立認定こども園及び私立小規模保育事業所において、当該施設に入所を希望する発達障がい児を受け入れできている。

（目標達成度）100.0%

（得点）35点



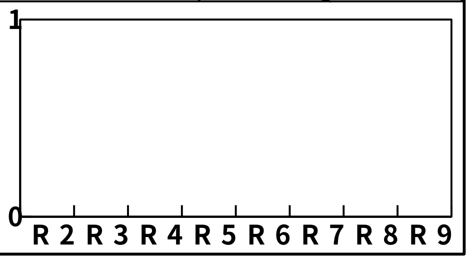
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R４	R５	R６	R７	中期目標 R８
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

（得点）



【コストの推移】

		単位	R４(決算)	R５(決算)	R６(決算)	R７(予算)
トータルコスト		[千円]	26,741	21,584	24,952	24,434
	(事業費)	[千円]	25,993	20,831	24,180	23,662
	(職員人件費)	[千円]	748	753	772	772

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和6年度	支弁対象施設４６施設に１１１人	事業費　２４，１８０千円	総額		24,180
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源		24,180
令和7年度	支弁対象施設４１施設に１０７人	事業費　２３，６６２千円	総額		23,662
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源		23,662

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%) B (60%～ 79%) C (0%～ 59%)	A	総合点(率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

受入れ施設数は、前年度の３８施設から８施設増加した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

今後も当該施策の状況を注視し、より効率的な事業となるよう取り組んでいく。